埼玉県議会議員

員田むねあき

県政報告

6行:埼玉県議会自由民主党議員団 美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91 TEL:048-951-5826 FAX:048-951-5926

URL http://www.mita-muneaki.com/

今年度の所属委員会 文教委員会(委員長)/人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会/予算特別委員会

補正予算【第12号】

ポストラロ計見据えた経済対策重視

県議会12月定例会は12月2日に開会し、補正予算【第12号】 一般会 計36億1.663万円及び補正予算【第13号】一般会計383億1.641万8 千円等を議決し12月22日に閉会しました。(補正後累計:2兆6,375 億5,877万6千円)

補正予算【第12号】はポストコロナ・ウィズコロナを見据え、経営環 境の変化に対応した事業の再構築に取り組む中小企業等への支援と して1億2,814万1千円、キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街 への支援として4,653万6千円、県産農産物販売促進キャンペーンによ

補正予算【第13号】 県議会12月定例会報告

36億1,663万円 383億1,641万8千円

無料PGR。抗原検査を実施へ

る農業生産者への支援として1億6.216万6千円など、経済を重視した 予算編成となっています。

補正予算【第13号】は、健康上の理由等でワクチン接種を受けられ ない無症状の方に加え、感染拡大傾向が見られる場合には、新型イン フルエンザ等対策特別措置法第24条第9項等に基づき知事が受検要 請を行い、これに応じた感染に不安を感じる無症状の方などの検査を 無料化するための予算などが盛り込まれています。

建設業関連の課題検討 プロジェクトチーム

大野知事へ契約書の遵守等を要望

自民党議員団では、県内建設業関連の課題を把握し改善することで、県内経済 の発展に資することを目的とするプロジェクトチームを設置し、私は事務局長として 参画しています。

今回、県内の建設事業者に対して行ったアンケートの結果、対等とされている発 注者の県と受注者たる事業者との関係が、とてもそうとは言い難い現状が浮かび上 がってきました。また、最低制限価格の引き上げや発注の平準化などの要望があり



ました。これを受けて私達は検討 を重ね、10月14日に大野知事へ改 善の要望書を提出しました。

要望書を受けとった大野知事からは「契約書の順守の徹底を図る」との回答を得ました。

また、さっそく更なる平準化 とともに最低制限価格の引 き上げが実施されました。

大野知事へ要望の主旨を説明し県の 対応を強く求めました。



埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例

私たちが条例改正を 提案し成立

私たち自民党県議団は12月定例会にお いて「埼玉県動物の愛護及び管理に関する 条例」の改正案を提案し成立しました。

埼玉県の犬猫の殺処分数は減少しているものの、殺処分0の目 標を達成するには、より一層の取り組みの強化が必要です。また、 動物取扱業者のさらなる適正化に取り組む必要もあります。

改正された県動物愛護条例では、飼い主になろうとする者や動 物取扱業者の責務を規定するとともに、動物愛護推進員の活動を 創設することにより、動物愛護に関する取り組みを強化することな どが定められています。

高州二丁目交差点の歩道整備

県道三郷松伏線の高 州二丁目交差点 (朝日信 用金庫三郷支店様前)の 改良については、私が県 議会議員になったころか らご要望頂いてました が、ようやく歩道整備が 完了しました。







県議会12月定例会では一般質問を行い、知事はじめ県執行部と一問 一答方式で県の施策について6項目14件の質問・提言を行いました。

「県民の安全の確保」

県民の安全の確保について

警察本部におけるテロや無差別襲撃事件への対応について

美田 鉄道における無差別襲撃事件が連続して発生した。テロと同じく、こう した無差別襲撃事件というのは、社会に与える影響も大きく、想定外をなくす よう対策を行っていくことが欠かせない。警察のテロ等の発生を抑止するための情報 収集力、発生時に対応するための機動力など、日頃からどのように備えているのか警 察本部長に伺う。

警察本部長 県警察においては不特定多数の者が集まる施設、イベント等、 当該施設等に対する警戒、爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事 業者への個別訪問等の警察活動を実施しているほか、テロ情勢に係る情報収集を鋭 意行っている。

他方、テロ等を未然に防止するためには、警察だけでなく関係機関、民間事業者、 地域住民等と緊密に連携して官民一体の対策を推進していくことが重要と考える。 そのため、テロ対策「彩の国」ネットワークを設立し、官民一体となった協議会や合同 訓練を実施するなど「テロを許さない街づくり」のため、地域の実情に応じた取り組 みを推進している。また、施設等の事業者に対しても、テロ等の未然防止に適した環 境作りや、資機材等の整備を促しているほか、警察との合同による各種訓練を実施し ている。万一テロ等が発生した際には、警備部機動隊にテロ対処の専門部隊を配置 し、その対処能力の向上を図っている。

新しい時代の教育について

ウィズコロナ時代の社会性習得について

美田 日本財団などがまとめた調査報告によると、子供たちの社会性など非 認知能力の低下や生活習慣の乱れが指摘されている。義務教育は、知識の習 得だけでなく、学校行事、体験活動、友人や教員などとの関りを通じて、子供の社会 的自立を促し、社会性を育む場でもあり、これは大きな問題だと考えている。新型コ ロナの存在を前提として児童生徒と向き合っていく必要がある現状では、ウィズコロ ナ時代の学校運営の在り方を日々検討していくべきと考える。教育長の見解を伺い たい。

教育長 学校では万全な感染防止対策を講じた上で、児童生徒の対話的な 活動や体験的な活動、学校行事などを様々な工夫をしながら実施してきた。 またICTを活用して積極的に自分の意見を表現したり、オンラインで地域の人とコ ミュニケーションを図ったりすることで、児童生徒の社会性の習得につながる取り組 みも実施している。県としては、新型コロナの存在を前提としつつ、可能な限り児童 生徒が直接体験したり、集団で活動する場面を大切にしながら、引き続きウィズコロ ナを生きる児童生徒の社会性習得に向けて、市町村や学校と連携して取り組んでい <。

いじめ問題へ対応するための道徳教育について

美田 国の調査では、令和2年度のいじめ認知件数は51万7,163件で、前年 度から減少しているものの、ネットいじめの認知件数は1万8,870件と過去最 高を更新した。また、国立教育政策研究所のいじめ経験の調査では、小学校4年生 から6年生までの3年間でいじめを受けた経験のある児童は80%、いじめを行った 経験のある児童は69%であり、いじめはどの子供にも、どの学校にも起こりうるもの と言える。一方、小学校でのいじめ発見のきっかけは「アンケート調査など学校の取 り組みにより発見」と「本人からの訴え」が全体のおよそ4分の3とされ、多くが本人 や周囲が声を上げることで発見に至っている。

県は、いじめ防止施策の一つとして「いじめの未然防止のための道徳教育の充実」 を掲げているが、「いじめを起こさない」という視点に加えて、「仮にいじめが起きた としても、いじめを傍観させない」という視点を道徳教育に持たせることが必要だと 考える。教育長に見解を伺う。

教育長 県では小中学校の道徳の授業において、児童生徒がいじめ問題を 自分自身のこととして捉えられるよう、「自分ならどうするか」「今までの自分 はどうだったか」を考え、議論する授業を実践している。そのため、教科書に加えて 県独自の教材「彩の国の道徳」も活用し、その中で、傍観者も相手を傷つけているこ とに気づかせる内容もとりあげている。また、道徳の授業だけでなく、全ての教育活 動を通して、温かな人間関係づくりや他者を思いやる心を育む道徳教育の充実に取 り組んでいる。今後も学校や市町村と連携し、道徳教育の充実に粘り強く取り組ん でいく。

口腔ケアによる生涯にわたる健康づくりについて

成人に向けた口腔ケア啓発の推進について

美田 現在推進している「第3次埼玉県歯科口腔保健推進計画」において は、成人歯科保健医療対策の推進が課題の一つとされている。国と日本歯 科医師会は 「8020運動」 を推進しており、働き盛りの成人期の口腔ケアも健康のた めに重要と考える。

一方、成人期においては、口腔ケアは本人次第となる現状がある。私の地元・三郷

市では、中学生を対象にタブレット端末を活用した「予防歯科プレゼン大会」を実施 しているほか、成人向けには、有志の歯科医師らによって、わかりやすい短編のスラ イド形式で、口腔ケアの重要性の啓発を行っており、理解を深めた<mark>受講者が家族や</mark> 友人などで教えあうことを推進している。

県もこうした成人に向けた□腔ケアの啓発推進が重要と考えるが、見解を伺いた い。

保健医療部長 議員お話しのとおり、成人期の口腔ケアをしっかり行ってい くことは非常に大切。県歯科医師会においてパンフレットなどを作成・配布 し、口腔ケアの重要性について普及啓発を図っている。さらに、歯磨き指導などを行 う歯科検診を定期的に受診していただくことも大切。しかし、歯科検診の受診率は 令和元年度61.9%で、歯科口腔保健推進計画に掲げた、令和5年度に66.7%の目標 達成までには更なる取り組みが必要。そのため、歯科検診を定期健康診断など、他 の検診と組み合わせ、受診しやすい環境を整えることなどを通じて、口腔ケアの啓発 を更に進めていきたい。

地元問題

三郷流山橋有料道路の早期完成について

美田 三郷流山橋有料道路を一日も早く完成させ、地域の交通状況が早期 に改善されることを、大いに期待している。現在の進捗状況と今後の見通しに ついて伺いたい。

県土整備部長 現在の用地買収率は99%、工事進捗率は80%となり、埼玉 県道路公社と両県で橋りょう部や取付部の工事を進めている。今後の見通し は、残る工事を計画的に進め、令和5年春の供用開始を目指していく。

都市計画道路三郷流山線の整備について

JR武蔵野線との立体交差など課題もあるが、現在、一部区間で工事が 進み、目に見える形で事業が進んでいる。現在の進捗状況と今後の見通しに ついて伺いたい。

県土整備部長 事業区間のうち、県道三郷松伏線から常磐道までの550m 区間については、令和3年度に用地取得が完了。今後は、令和5年春の三郷流 山橋有料道路の供用に併せて工事を進める。

次に、県道越谷流山線から市道111号線までの約1.4km区間については、これま でに、JR武蔵野線との立体交差化の協議をJR東日本と進めてきた。令和3年度は、 JR武蔵野線とのアンダー方式での立体交差の形式が決まったことから、道路の詳細 設計に着手していく。

次に市道111号線から県道葛飾吉川松伏線までの約1km区間については、これま でに、送電用の鉄塔部分以外の用地取得は完了している。令和3年度は鉄塔管理者 と協定を締結し、鉄塔の移設の設計に着手する。また、第二大場川に架かる橋りょう の詳細設計に着手している。今後は、鉄塔管理者による鉄塔移設を進め、橋りょうの 架け換え工事に着手していく。引き続き、地元の皆様のご理解とご協力を頂きなが ら、事業を推進していく。

都市計画道路三郷流山線の延伸について

美田 都市計画道路三郷流山線の完成後は交通量の増加により、現状でも 渋滞が頻発している外環道三郷インター西出口周辺地域の一層の悪化が危 惧される。そこで、この都市計画道路を延伸して新たな橋を中川に架けるべきと考る が所見を伺いたい。 三郷流山有料道路計画図

県土整備部長 都市 計画道路三郷流山線 は、今後、常磐道やJR武蔵野 線との立体交差など大規模 な上事が予定され、多大な 費用と時間を要す。また、延 伸が想定される区域では、 土地区画整理事業が進めら れているほか、柿木浄水場を はじめ、多くの大規模施設 が立地しているなどの課題 がある。

都市計画道路三郷流山線 の進捗状況や、延伸が想定 される地域の課題、周辺地 域の交通状況や土地利用の 動向なども踏まえ、延伸につ いて関係市とともに引き続き 研究していきたい。

野田市 吉川市役所 三郷流山橋有料道路 吉川市 流山市 三郷スマートIC

※他に「県の温暖化対策について」と「県内中小企業の DX 推進について」 詳細は県議会のホームページをご参照ください。一 質問しています。

